

13:23 そのころまた私は、アシュドデ人、アンモン人、モアブ人の女を妻にしているユダヤ人たちに気がついた。

13:24 彼らの子どもの半分は、アシュドデのことばか、あるいはそれぞれほかのことばを話して、ユダヤのことばが分からなかった。

13:25 そこで私は彼らを詰問してののしり、そのうちの数人を打って毛を引き抜き、神にかけて誓わせて言った。「あなたがたの娘を彼らの息子に嫁がせてはならない。また、彼らの娘をあなたがたの息子、あるいはあなたがた自身の妻としてはならない。

13:26 イスラエルの王ソロモンも、このことで罪を犯したではないか。多くの国の中で彼のような王はいなかった。彼は神に愛され、神は彼をイスラエル全土を治める王としたのに、その彼にさえ異国人の女たちが罪を犯させてしまった。

13:27 あなたがたについても、異国人の女を妻とし、私たちの神の信頼を裏切るといふ、この大きな悪が行われていることを聞かなければならないのか。」

13:28 大祭司エルヤシブの子エホヤダの子の一人は、ホロン人サンバラテの婿であった。それで、私は彼を私のところから追い出した。

13:29 私の神よ、どうか彼らのことを覚えていてください。彼らは祭司職を汚し、祭司職とレビ人たちの契約を汚したのです。

13:30 私は異教的なもの一切から彼らをきよめ、祭司とレビ人のそれぞれの務めにしたがって職務に就かせ、

13:31 定められた時に行う薪のささげ物と、初物についても規定を定めた。私の神よ、ど

うか私を覚えて、いつくしんでください。

イスラエルがなぜこのような苦勞をして、城壁を再建したかといえば、彼らが神様に背いて滅ぼされたからです。なぜ背いたかといえば、その大きな原因は異教徒との結婚にありました。結婚だけではなく、今日の風習を受け入れ、結局神様から遠ざかり、次第に背くようになってしまったのです。

ネヘミヤの戦いは城壁ができて終りではありませんでした。この信仰の問題が解決しなければ、何も解決しないのです。

見るところの解決で安心して終りにしないようにしましょう。問題の原因がどこにあるのか、神様との関係がどうなっているのかを、教えてくださいましょう。そして本当の解決に向かいましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

